

①

連携アプリケーション再セットアップ手順書

第 3.00 版

2023 年 8 月 30 日

変更履歴

項番	版数	変更理由	変更内容	変更箇所	変更区分 (追加/変更/削除)	年月日
1	1.00	初版作成	初版作成	-		2020/11/16
2	1.01	アンインストールをやめ、上書きインストールへと変更	アンインストールの章を削除 上書きインストールを追加	- 1. 初めに、2. 再セットアップ手順概要、5 上書きインストール後の再設定手順についてアンインストールを上書きインストールに文言を修正 - 4. アンインストールを削除、5. アンインストール後の設定を削除	変更	2020/12/21
3	1.02	上書きインストール時についての注意事項を追加	上書きインストール時についての注意事項を追加	-	追加	2021/3/8
4	1.03	インストーラーのJava 同梱対応	Java 同梱したため不要となった手順を削除	- ⑤Java のコピー	削除	2022/2/28
5	1.04	電子処方箋管理サービス追加に伴う追加	電子処方箋管理サービスの記載を追加	- 1. はじめに - 4. 上書きインストール※注意	追加	2022/8/31
6	1.05	上書きインストール時の手順改善	連携アプリケーションのタスク操作後に資格確認端末を再起動する手順を追加	- 3. 連携アプリケーションの定期起動の無効化	追加	2022/9/5
7	1.06	インストーラー改善対応	インストール時の実行ファイルを変更	- 4. 上書きインストール※注意	変更	2023/1/18

項番	版数	変更理由	変更内容	変更箇所	変更区分 (追加/変更/削除)	年月日
8	1.07	電子処方箋管理サービス利用開始に伴う修正	「電子処方箋管理サービスの利用開始時期について」の文言を削除	- 表紙	削除	2023/2/28
9	3.00	インストーラー改善対応	インストール時の実行ファイルを変更	- 4. 上書きインストール※注意	変更	2023/8/30

目次

1. はじめに.....	1
1.1 本書の目的.....	1
1.2 本書の構成.....	1
1.3 本書の対象.....	2
1.4 導入時の前提条件.....	3
2. 再セットアップ手順概要.....	4
3. 連携アプリケーションの定期起動の無効化.....	5
4. 上書きインストール.....	8
5. 上書きインストール後の再設定手順について.....	12

1. はじめに

1.1 本書の目的

本書は、医療機関・薬局等の HIS 等（レセコン含む）既存システム（以下、「既存システム」とする）とオンライン資格確認システム及び電子処方箋管理サービスが、ファイル連携するために使用する連携アプリケーションの再セットアップ手順を示す。

1.2 本書の構成

本書の構成を「表 1-1 本書の構成」に示す。

表 1-1 本書の構成

項番	資料名	概要
1	連携アプリケーション再セットアップ手順書 (本書)	オンライン資格確認システム及び電子処方箋管理サービスとファイル連携するために必要な、連携アプリケーションの再セットアップ手順を記載した資料

1.3 本書の対象

既存システムとオンライン資格確認システム及び電子処方箋管理サービス間の連携には「①連携アプリケーション」、「②Web アプリケーション連携」、「③顔認証連携」及び「④WebAPI 連携」の4つの方式がある。本書は①の連携アプリケーションを対象とする。

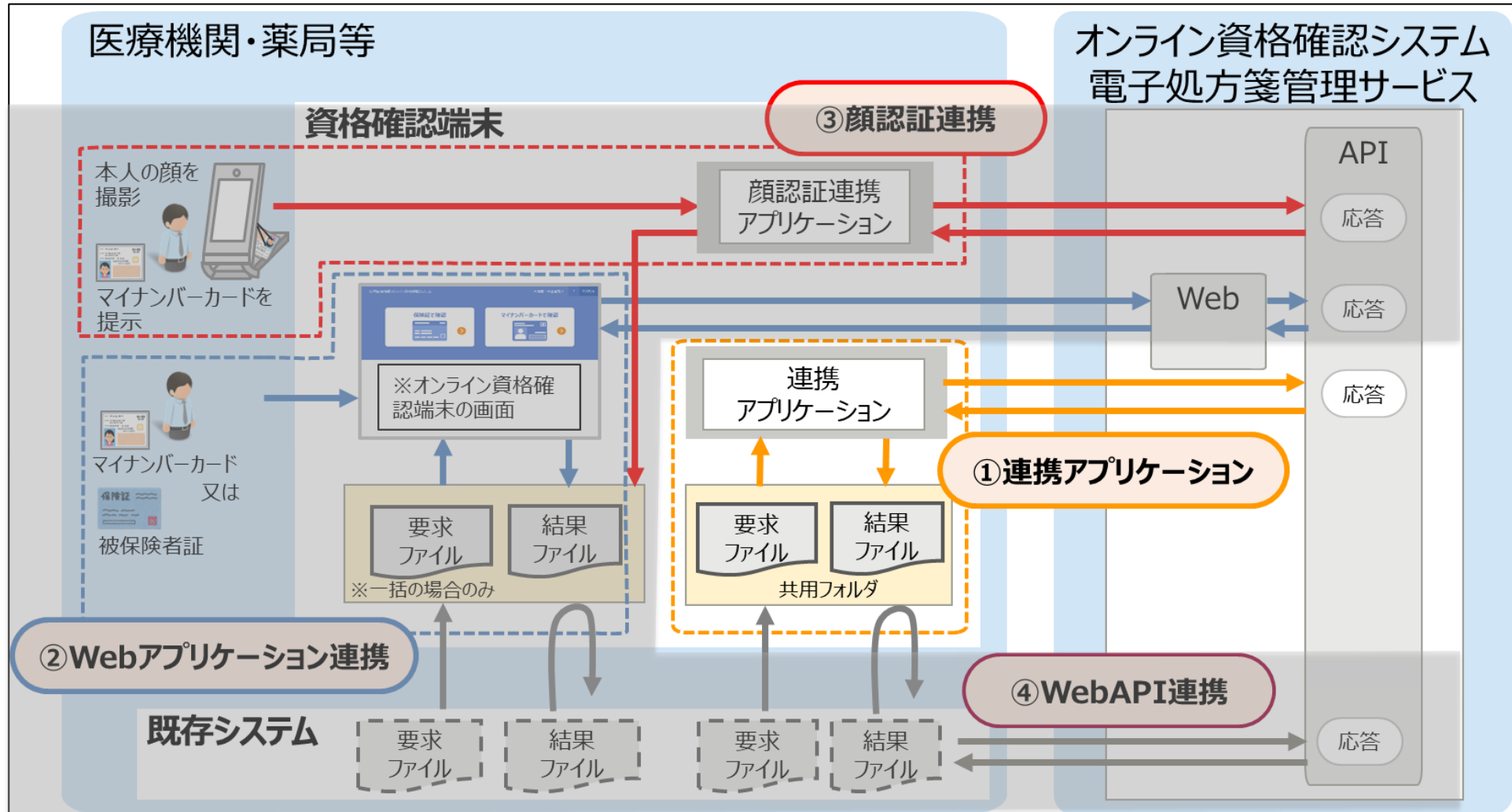


図 1-1 既存システムとオンライン資格確認システム、電子処方箋管理サービス間の処理概念図

1.4 導入時の前提条件

- 連携アプリケーションの再セットアップ設定について、「OqsComApp」ユーザーで操作すること。
- 連携アプリケーションを導入済みであること。

2. 再セットアップ手順概要

再セットアップ手順の概要を以下に示す

作業ステップ	作業項目	ツール：作業内容
事前準備	タスクの削除	・スタートメニュー：コンピュータの管理：タスクスケジューラ
上書きインストール	上書きインストール	・インストーラー

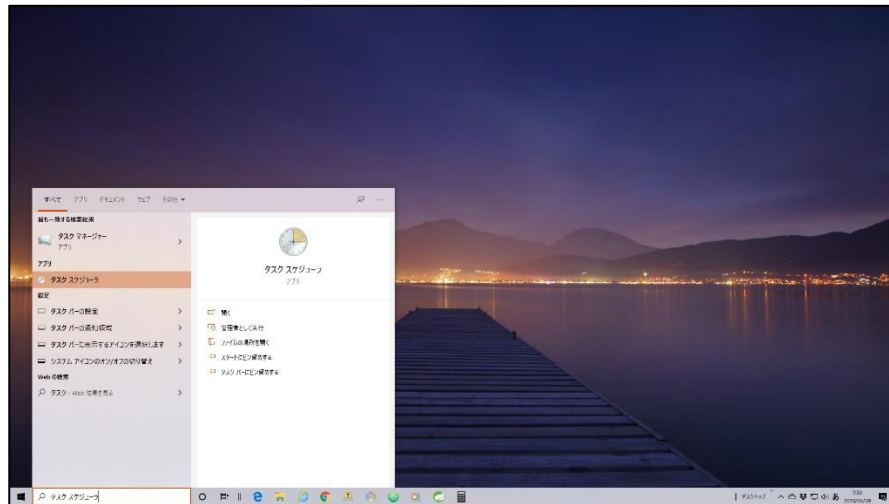
3. 連携アプリケーションの定期起動の無効化

「連携アプリケーション」は、Windows の機能である[タスクスケジューラ]の機能を使用して、定期的に連携ファイルの処理を実行する。
再セットアップ時には以下の手順にて定期起動の無効化を行う。

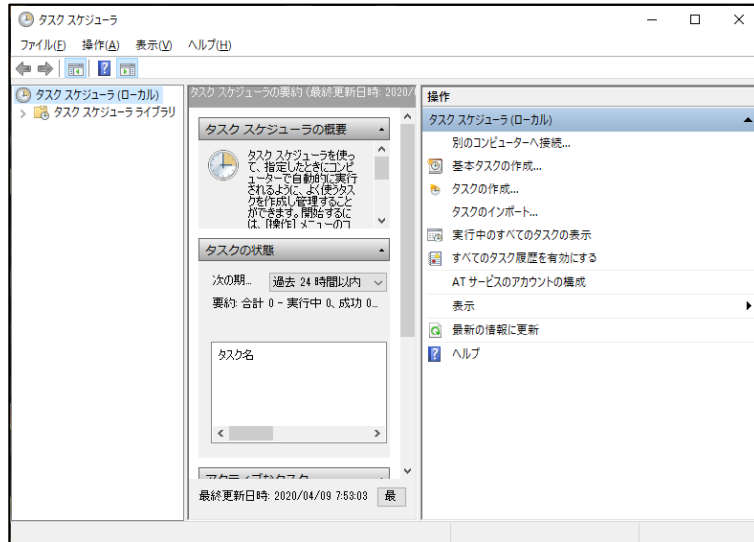
[定期実行の無効化]

タスクスケジューラを起動

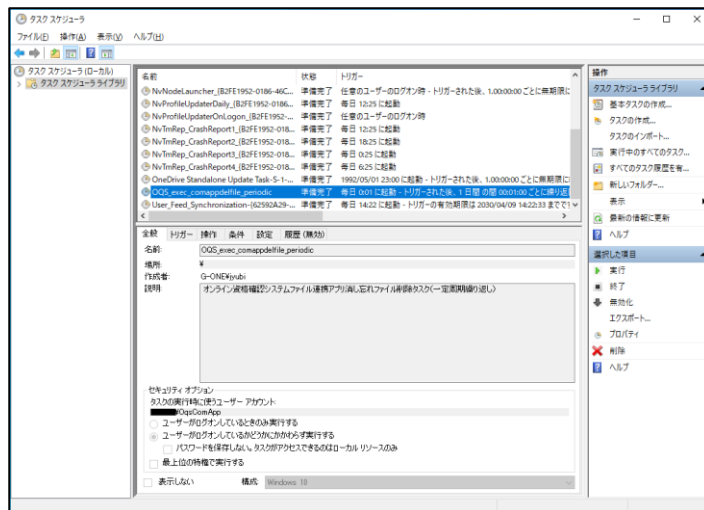
- ① ステータスバーの検索ボックスに「タスクスケジューラ」と入力し、タスクスケジューラを起動する。



② [タスクスケジューラ]が起動する。



③ 左の領域で[タスクスケジューラライブラリ]を選択し、導入手順で追加した[OQS_exec_comappstart]タスクをクリックする。

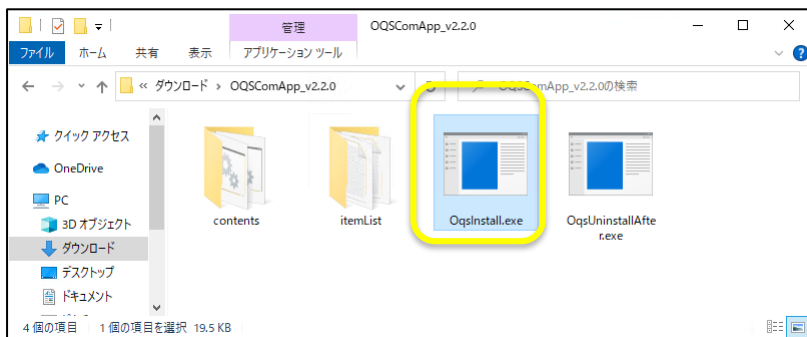


- ③ 右の領域で無効化をクリックする。
同様に、他の2つのタスクについても、無効化を行う。

- ④ 資格確認端末を再起動する。

4. 上書きインストール

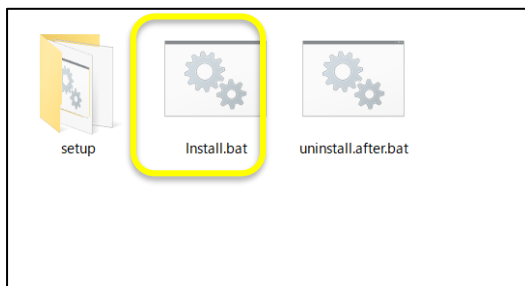
- ① 提供物から OQSComApp.zip を取り出し、任意の場所に解凍する。
OQSComApp フォルダの OqsInstall.exe をダブルクリックする。



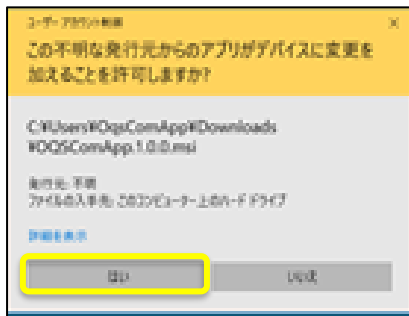
※OqsInstall.exe は、バージョン 2.2.0 以降から提供。

※注意

2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合は install.bat をダブルクリックする。



- ② ユーザアカウント制御のダイアログに対して[はい]ボタンをクリックする。



- ③ インストールが完了すると画面が自動的に閉じる。
- ④ インストール後、以下のバージョン定義ファイルが存在し、メモ等で開くとバージョンが最新になっていることを確認する。

【バージョン定義ファイル】

C:¥Program Files¥OQS¥OQSComApp¥Version.info

※注意

バージョン定義ファイルが存在しない、または存在しても内容が古いままである場合、上書きインストールが失敗しているため、以下の方法でアップデートを実施すること。

①下記ファイルを退避

- ・暗号化識別ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥encrypt.conf)
- ・ユーザー定義ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥UserDefinition.property)
- ・システム定義ファイル (C:¥ Program Files¥OQS¥OQSComApp¥conf¥SystemDefinition.property)

②連携アプリの停止

C:¥Program Files¥OQS¥OQSComApp¥tools¥OQSComAppRestart.bat を管理者で実行

③コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]から OQSComApp をアンインストール

④インストーラー (OQSComApp.zip) に内包されている、OqsUninstallAfter.exe を実行する。

※OqsUninstallAfter.exe は、バージョン 2.2.0 以降から提供。

※2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合は Uninstall_after.bat を提供している。

2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合はインストーラー (OQSComApp.zip) に内包されている、Uninstall_after.bat を管理者権限で実行する。

⑤インストーラー (OQSComApp.zip) に内包されている、OqsInstall.exe の実行

※OqsInstall.exe は、バージョン 2.2.0 以降から提供。

※2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合は install.bat を提供している。

2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合はインストーラー (OQSComApp.zip) に内包されている、install.bat を管理者権限で実行する。

⑥①で退避したファイルを参考に下記ファイルの設定を戻す

- ・暗号化識別ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥encrypt.conf)
- ・ユーザー定義ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥UserDefinition.property)
- ・システム定義ファイル (C:¥ Program Files¥OQS¥OQSComApp¥conf¥SystemDefinition.property)

※更新によって新しい項目が増えている場合があります。その際は新しい定義に古い定義の内容を反映してください。

⑦オンライン資格確認システムの接続先が接続検証環境であった場合、環境を接続検証環境に戻す手順を実施(資格確認端末環境切替え手順書を参照)

5. 上書きインストール後の再設定手順について

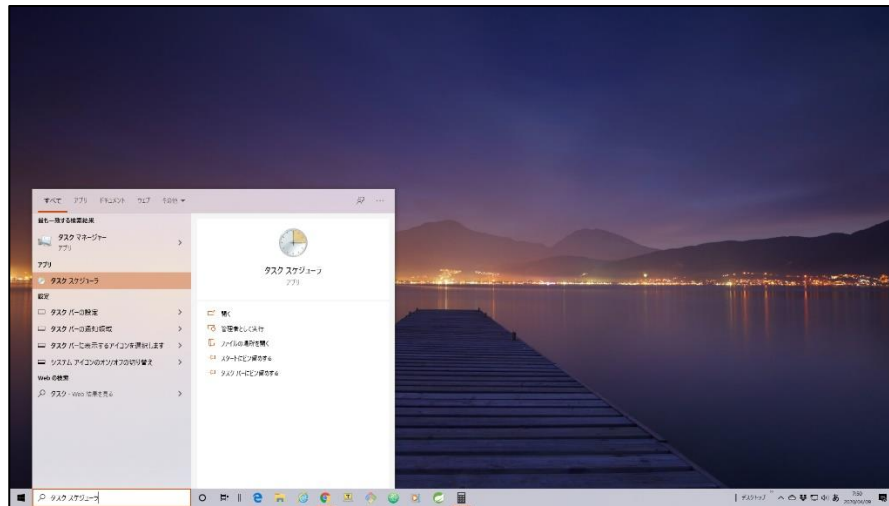
上書きインストール後には、以下の手順と別紙「連携アプリケーション導入手順書」の6. 導入後の動作確認手順を実施すること。

- ・ 連携アプリケーションの定期起動の設定(タスクの有効化)

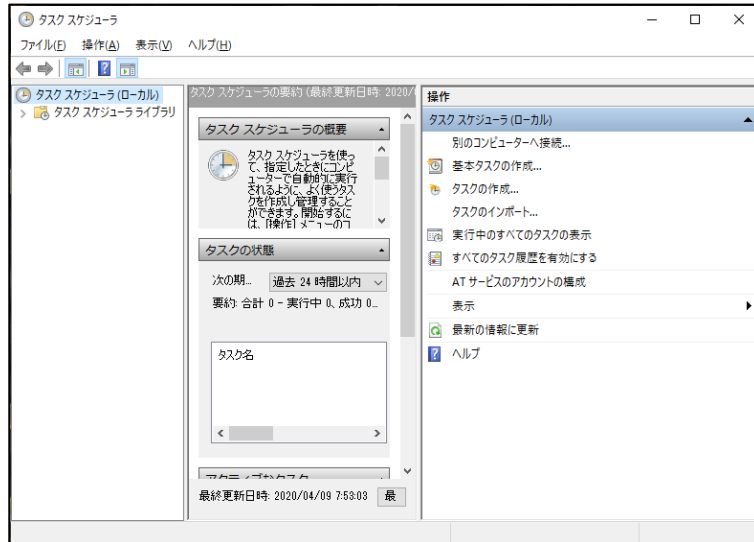
[定期実行の有効化]

タスクスケジューラを起動

- ① ステータスバーの検索ボックスに“タスクスケジューラ”と入力し、タスクスケジューラを起動する。



② [タスクスケジューラ]が起動する



- ③ 左の領域で[タスクスケジューラライブラリ]を選択し、導入手順で追加した[OQS_exec_comappstart]タスクをクリックし、右の領域で有効化をクリックする。
同様に、他の2つのタスクについても、有効化を行う。